

第29回 県民文化奨励賞 (平成25年度)

* 受賞者の紹介



特定非営利活動法人

ひろしまかくらげいじゅつけんきゅうしょ

広島神楽芸術研究所 (神楽芸術研究)

理事長 日隈 健 壬 氏

平成16年9月28日設立 (9年)

広島県山県郡北広島町大字壬生149番地
(事務局)

広島県山県郡北広島町丁保余原1501-1



特定非営利活動法人広島神楽芸術研究所は、地域の人々がふるさとに自信と誇りを持ちながら充実した暮らしができる社会環境づくりを広島を中心とした中国山地の神楽並びに芸術に関する様々な活動を支援することを目的として平成16年に設立された。

中国山地に伝わる神楽は、古き良き時代の優雅な「伝統を守る舞」と新しい時代に対応する「創作的な舞」とがお互いに刺激しあいながら伝承されているなかで、とりわけ、若い世代に注目を浴びている「創作的な舞」は、ここ中国山地の神楽特有の形態と考えられている。また、芸術に関する分野でも、中国山地には、様々な分野の作家が居住し、活発な創作活動を展開されていることから、研究所は、広島・島根につたわる石見神楽について実態や神楽の観光資源、地域資源としての可能性について調査、研究活動をはじめ、公演、シンポジウムや交流会などの催物の開催、インターネットを活用した情報交換の仕組みづくりを通して、平成18年マイクロソフト「NPO支援プログラム」により神楽活動団体調査を実施、この調査を基に神楽ポータルサイト「神楽の杜」を開設、運営し、神楽団や公演情報の発信を総合的に行っている。

各種神楽公演にも多く関与し、平成17年大阪にて広島県大型観光キャンペーン観光説明会「神楽の魅力」に参加。壬生の花田植文化財合同祭り企画運営協力。北広島町にて芸北神楽フォーラムコーディネーター・パネラーとして参加。RCC神楽スペシャル平安の悲劇監修 (～平成18年)。平成18年経済産業省「先導的分野情報化推進等委託事業」において「広島神楽」の実態把握、広島市中心部における夜神楽常時上演可能性研究業務を実施。戸河内ふれあいセンターにて芸北神楽フォーラム運営協力。平成19年経済産業省「サービス産業生産性向上支援調査事業」において神楽の可能性について調査研究を実施 (～平成20年)。中小企業基盤整備機構「地域資源活用企業家コーディネート活動等支援事業」において委員として神楽の可能性について調査研究を実施。RCC神楽スペシャル鬼女伝説監修。同年度より交流事業として広島、島根の神楽団が出演する「月一の舞い」を北広島町で毎月開催。平成20年RCC神楽スペシャル「5周年記念頼光武勇伝 (源頼光と四天王)」監修。平成21年RCC神楽スペシャル「魔境の鬼伝説～伝説の山々を訪ねて～」監修 (～平成23年)。

平成21年度県の実施する「ひろしま夏の芸術祭2009」メインコンサートにおいて、広島交響楽団と北広島神楽団 (山王神楽団を中心に結成) とのコラボレーション公演「オロチ～火と水への讃歌～神楽とオーケストラのために」一実行委員会への参画および神楽構成・演出。

平成22年、同事業。広島を象徴する神楽演目の創作「巖島」(琴庄神楽団)を企画・制作。

平成24年RCC神楽スペシャル「東日本大震災「復興支援」がんばろう！日本」監修。平成25年RCC神楽スペシャル10周年記念大会監修。また、県民文化センターにおいて指定管理者とともに神楽定期公演を主催し、広島市中心部における新しい夜の文化的賑わいを創造する新たな取組を進めている。

以上のように神楽芸術研究を中心に地域の伝統芸能の振興に大きく寄与するとともに、今後とも大いに活躍が期待されている。